



まいづる 市議会だより

Maizuru City Council News Letter

No. 197

令和7年(2025)
11月25日

- 議会から市へ政策を提言～「市民と議会のわがまちトーク」から、議員の議論を経て～
- 令和6年度一般会計決算を認定
- 令和7年度一般会計補正予算を修正可決
- 「女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書」を可決

主
な
内
容

9月定例会のあらまし	2
委員会の審査報告	2
各会派討論の内容(議案)	4
委員会の審査報告(静浜ポンプ場関連議案)	6
各会派討論の内容(静浜ポンプ場関連議案)	7
意見書	8
議案の採決結果	8
代表質問	10
一般質問	12
令和6年政策提言に対する市の対応状況報告	19
令和7年政策提言を市へ提出	19
議会報告会	20
12月定例会の予定	20

議会だよりはホームページから
ご覧いただけます。



秋みい～つけた！ 芸術の秋
〈ふるるファームでの陶芸教室〉



9月定例会のあらまし

- スタートしてから2年目となる第7次舞鶴市総合計画・後期実行計画により、未来に希望がもてる活力あるまちの実現に向け、学校給食費無償化に係る中学校給食の先行実施、12歳までであった対象年齢を18歳までに拡充した子育て支援医療費助成などの事業に取り組んだ令和6年度一般会計決算を認定
- 一般会計補正予算（第4号）では、子育てに関する全ての機能を中総合会館に集約する「こども・子育て推進拠点機能強化事業費」、緊急的な福祉人材の確保に向けて総合支援を実施する「まいづる福祉人材未来プロジェクト事業費」などの事業を認める一方、令和6年度に契約解除した静溪ポンプ場建設土木工事に係る損害賠償金を下水道事業会計へ繰り出す「下水道事業会計補助金」6,677万円の予算執行を止める修正案が提出され、審議した結果、賛成多数で修正案を可決
- 静溪ポンプ場建設土木工事中において、令和6年度に任意解除権に基づき契約解除したことに伴う損害賠償のうち、逸失利益分を除く施工協議により実施した未払いの工事費分を追加計上する下水道事業会計補正予算（第1号）、静溪ポンプ場建設工事の工事請負契約の解除に関し、一部の損害賠償の額を定める議案を審議した結果、反対多数で本議案2件を否決

令和7年舞鶴市議会9月定例会は、9月2日から10月7日までの36日間開催されました。9月定例会に市長から提案された議案は、令和6年度決算9件、令和7年度補正予算5件、条例2件、その他5件の21議案を審議した結果、18件を原案のとおり認定・可決・同意、残り3件のうち、1件を修正可決、2件を否決しました。加えて、議会提案の「女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書」1件を可決しました。

予算決算委員会の 主な審査内容

令和7年度一般会計
補正予算（第4号）

こども・子育て推進拠
点機能強化事業費

相談窓口の体制は

現在の中総合会館
の2階にあるこども家
庭しあわせ課の場所を
窓口として、子育て応
援課、乳幼児教育推進
課の職員も含めて約50
人体制での運用を計画
している。

相談支援体制は

継続して関わって
いるケースもあるため、
しつかり説明できる職
員が対応していく。

令和6年度一般会計
決算の認定

西市民プラザ管理運営
経費

利用件数が前年度
比で増えた要因は

指定管理から直営
となり、ご心配をおか
けた面もあるが、こ
れまでどおり安心して

使用していただいてお
り、その結果、少し利
用が伸びたものと考え
る。

交通対策費

岡田中地区の自主
運行バスの老朽化の把
握は

老朽化については、
昨年度より把握してお
り、今後の運行のあり
方について、岡田中バ
ス運行協議会と協議を
進めているところであ
る。車両の走行が困難
な事態となった場合に
は、レンタル車両など
を活用して運行を継続
していただくよう考え
ている。

衆議院議員総選挙及び
最高裁判所裁判官国民
審査費

投票立会人の待遇
と投票環境の改善は

報酬については、
本年6月に国の基準に
基づき単価の改定を行
った。業務時間につい
ても、基本は1日であ
るが、事情に応じて半
日単位での対応も実施

している。

また、夏の選挙にお
ける投票所の暑さなど
投票環境の改善も課題
である。全施設への空
調設置は直ちには困難
であるが、より良い環
境の確保に向け、代替
案を含めて検討を進め
る。

高齢者外出支援事業費

高齢者外出支援事
業費について、割引乗
車証の販売実績だけで
なく、本来の目的であ
る高齢者の社会促進や
介護予防といった観点
から、どのような効果
があったと考えるのか。

制度開始から10年
間の動向を見ると、高
齢化率は進んでいるも
の、65歳以上の高齢
者に占める要介護認定
者数および認定率は、
ほぼ横ばいで推移して
いる。この結果は、外
出支援事業を含むその
他の介護予防事業全体
の効果である可能性は
あるものの、介護予防
につながる効果が現れ
ていると考えている。

本会議において付託された議案は、産業建設委員会2件、総務消防委員会3件、予算決算委員会14件、静浜ポンプ場整備に関する調査等特別委員会1件であり、それぞれの委員会では審査しました。

※ 予算決算委員会2件(令和7年度一般会計補正予算(第4号)、令和7年度下水道事業会計補正予算(第1号))および静浜ポンプ場整備に関する調査等特別委員会1件(損害賠償の額を定めることについて静浜ポンプ場建設(第21-1)工事の工事請負契約の解除)の審査報告はP.6に掲載しております。

委員会の審査報告

子育て交流施設管理運営経費

Q 相談件数が前年度比で増えた要因は

A 令和6年度からピアサポーターが2人体制となり、子育て相談を受け付ける機会が拡充したため。

不妊・不育治療給付費

Q 不妊・不育治療給付について、医療保険対象治療の自己負担軽減(2分の1、上限年6万円)で119件、先進医療で39件などの実績があるが、不妊治療の実際の費用は、上限を大きく超えるというが、助成制度の拡充(上限額の引き上げなど)を検討する考えは

A 不妊・不育治療の助成制度は、令和7年度から補助率と補助額を拡充している。治療の内容により異なるが、例えば、保険診療対象の不妊治療では、補助率を2分の1補助から4分の3補助へ引き上

げるとともに、上限額も6万円から10万円へ引き上げた。

産業振興プラットフォーム推進事業費

Q 具体的にどのような支援を行ったのか

A 事業承継に関する伴走の支援チームを作り、54社を訪問したほか、デジタル化を検討する18社を訪問し、そのうち7社が補助金を活用した機器の導入に至ったケースなどがある。

幹線道路整備事業費

Q 引土境谷線および和泉通線の状況と完成見込みは

A 引土境谷線は、一部の橋台工事が完了したほか、用地取得を進めているところであり、完成時期は、最短で令和13年頃の見込み。和泉通線は、用地取得が完了しており、令和8年度末の共用開始を目指して鋭意工事を進めている。

令和6年度病院事業会計決算の認定について

Q 令和6年度病院事業会計の決算の特徴は

A コロナ禍で低迷した患者数は徐々に回復し、稼働率の改善を通じて収益の増加が図られた。その一方で、昨今の物価高騰等の影響により、病院運営に必要な固定経費の増加が、この収益の増加を大きく上回った。その結果、病院事業は純損失を計上するに至った。

常任委員会の主な審査内容

産業建設委員会

水道事業給水条例等の一部改正

災害時等における給水装置等の復旧工事を円滑に実施できるよう、従来、舞鶴市が指定した業者に限定していた工事の実施を、他の市町村が指定している業者でも可能とするもの。

総務消防委員会

赤れんがパーク園路(その1)整備工事の工事請負契約について、赤れんがパーク園路(その2)整備工事の工事請負契約について

昨年度に引き続き、赤れんがパーク周辺で、防衛省のまちづくり支援事業を活用し、海沿いのボードウォークや展望デッキなどの整備、赤れんがパーク第1駐車場から山頂までの階段、利用者の安全のための転落防止柵等を設置するもの。

Q ボードウォーク整備に伴い、赤れんがパーク第1駐車場の駐車台数は減少するの

A 約20台分程度減少する予定である。

Q メンテナンスの観点から山頂への園路の手すりや足場の材質は

A 維持管理の負担を軽減するため、階段の手すりにはアルミを、デッキの板には人工素材を使用する予定である。

舞鶴市議会の情報発信 ～ YouTube と Facebook ～

舞鶴市議会 公式YouTubeチャンネル

舞鶴市議会では、議会の「見える化」を図る方法の1つとして、「舞鶴市議会公式YouTubeチャンネル」を開設しています。

本会議や委員会のライブ配信・録画配信に加えて、定例会の概要報告や委員会の活動報告など、舞鶴市議会がどのような活動をしているかをご理解いただくための動画を配信していますので、是非ご覧ください。



チャンネル登録を
よろしく願います。

舞鶴市議会 公式Facebook

「市民に開かれた議会」に向けた取り組みとして、市議会公式Facebookにて、議会活動に関するさまざまな情報を随時発信していますので、是非ご覧ください。

チャンネル登録や「いいね!」もお願いします。

舞鶴市議会
YouTube



舞鶴市議会
Facebook



舞鶴市議会
ホームページ



令和7年10月7日の最終本会議において、提案された議案に対して討論をしました。令和7年度一般会計補正予算(第4号)、令和7年度下水道事業会計補正予算(第1号)、損害賠償の額を定めることについて静浜ポンプ場建設(第21-1)工事の工事請負契約の解除に関する3議案に対する討論は、7ページに掲載しています。

討 論

市民生活の下支えこそ自治体の役割

日本共産党議員団

13議案に賛成し、7議案に反対する。

一般会計決算では、赤れんが周辺等まちづくり事業より市民生活の底上げをする事業に切り替えるべきであり、自衛官募集事務経費では、名簿提供に対する拒否申請制度を設け、整備新幹線誘致推進費では、新幹線より在来線を充実させるべきである。また、過度に競争的な学習環境も学校嫌いの要因になっており、市内統一学力テストは止めるべきとの点において認定できない。国民健康保険および後期高齢者医療の事業



暮らしし圧迫の保険料引き下げを

会計決算では、保険料の引き下げを。介護保険事業会計決算では必要なサービスが受けられるよう改善を求める。

国に支援金制度の撤回を

国民健康保険および後期高齢者医療の事業会計補正予算は、創設された「子ども・子育て支援金制度」に対応するためのもので、保険料から徴収され、国民への負担増や社会保障削減が前提である。子育て支援の充実、社会保障予算の拡充を進め、国に制度の撤回を求めるべきである。

討 論

持続可能なまちづくりの実現に期待する

公明党議員団

19議案に賛成し、1議案に反対する。

一般会計の決算では、歳入歳出差引残額は黒字であり、長期借入金金は14億円減額している。歳出では、自治体システム標準化事業やDX推進事業等の効率化の推進、物価高騰に対する支援、子ども・子育てや高齢者の支援にも尽力をいただいた。また、一次産業でもスマート農業やスマート漁業の支援、万願寺甘とうや佐波賀だいこん、茶業等の舞鶴の農水産物への支援に有害鳥獣被害防止対策事業の拡



持続可能な循環型社会の構築

充など、安心して住み続けられる取り組みと評価し、認定する。

一般会計補正予算では、持続可能なまちづくりの実現に向けて、民間企業のパナソニックIT S株式会社の持つ専門知識やノウハウ等を生かし、循環型社会や魅力を引き出す事業に期待する。また、不足する福祉人材確保事業を評価する。水産業支援では、丹後とり貝の種苗購入補助により、生産意欲の向上と後継者育成に寄与することから賛成する。

討 論

赤れんがパーク整備に期待

自民党鶴政クラブ議員団

18議案に賛成し、2議案に反対する。

国民健康保険事業会計および介護保険事業会計、高齢者医療事業会計の各補正予算は、必要な事業実施のための補正予算であり、適切なものと判断する。

する条例を廃止するものであり、適当と判断する。

舞鶴市水道事業給水条例等の一部を改正する条例制定は、災害時等に水道の復旧工事を円滑に行うために条例を改正するものであり、適当と判断する。

赤れんがパーク園路(その1・その2)整備工事に係る工事請負契約については、本市の観光の中核を担う赤れんがパークの園路を整備するもので、観光資源充実のために適当と判断し、賛成する。



整備を待つ赤れんがパークの完成イメージ

茶業等の舞鶴の農水産物への支援に有害鳥獣被害防止対策事業の拡

令和6年度の一般会計をはじめとする各事業会計の決算認定においても、適切に執行されたものと判断する。舞鶴市吏員隠遁料其他給与金条例等を廃止する条例制定は、現行の年金制度創設以前の制度による支給事務が終了したことにより関係

令和7年10月7日の最終本会議において、提案された議案に対して討論をしました。令和7年度一般会計補正予算(第4号)、令和7年度下水道事業会計補正予算(第1号)、損害賠償の額を定めることについて静浜ポンプ場建設(第21-1)工事の工事請負契約の解除に関する3議案に対する討論は、7ページに掲載しています。

討 論

討 論

無理せず身の丈に 合った財政運営を評価

新政クラブ議員団

18議案に賛成し、2議案に反対する。
令和6年度一般会計決算の認定について、歳入では、年々減少している市税収入は好転しないものの、地方特例交付金の増加や地方交付税の追加交付などにより、令和5年度と比較し増額となっている。一方、令和6年3月定例会で争点となった「ふるさと応援寄附金」については、「目標額を達成できる体制を整えている」と市側の熱弁された答弁であったが、目標額5億3480万円に対し、決



ふるさと応援寄附金で地域活性

算額は4億5201万円と未達成であった。この事実を認め、今後は恒久的事業へ予算編成しないことを求める。全体の総評として、実質収支額が黒字になったことや、財政調整積立金の取り崩しがなかったことを含め、堅実な財政運営をされたと理解する。一方、財政力指数は低下を続けており、自主財源比率の低下が続いているが、無理をせず、身の丈に合った事業展開がされた結果であると理解し、賛成する。

討 論

まちづくり戦略 3つの柱の推進を評価

超党・市民ファースト議員団

19議案に賛成し、1議案に反対する。
一般会計決算では、第7次舞鶴市総合計画・後期実行計画に基づき、まちづくり戦略として掲げる3つの柱、「希望がもてるまちづくり」「安全で安心なまちづくり」「魅力あるまちづくり」に基づき事業を積極的に推し進められた。中学校給食の無償化や対象年齢を12歳から18歳に拡充した子育て支援医療費助成、子どもの成長段階に応じた支援を行う「こども家庭センター」の開設に取り組まれた。先



D X推進が期待される市役所

天性聴覚障害を早期に発見し治療につなげる新生児聴覚検査事業、持続可能な地域医療体制の確立に向けた取り組みのほか、西消防庁舎新築工事やはしご付消防ポンプ自動車の運用、公共施設予約システムの更新や介護認定業務に係るデジタルDXの推進など、「未来に希望が持てる活力あるまち・舞鶴」を目指し取り組んだ。また、令和5年台風7号による被災地域の復旧支援に努められたことなどを高く評価し、認定する。

過去の放送内容も
お聴きいただけます。



これまでの主な放送テーマ

「定例会の議案紹介、審査報告」
「市民と議会のわがまちトーク」
「議会の情報発信の取り組み」
「広報会議」「議会運営委員会」
「議員研修会」「請願・陳情」
「議会学習会」
「議会における防災訓練」など

今回の放送予定や
これまでの放送内容について詳しくは、ホームページからご覧いただけます。



今後の 放送予定

放送テーマ

放送日時や放送内容については、決まり次第、ホームページ等でお知らせします。

FMまいづるに

出演しています

舞鶴市議会では、定例会開催月(3月・6月・9月・12月)を除く月1回、FMまいづるの「ななこちゃったラジオ」に議員が出演しています。
定例会の報告や市議会の進めている取り組みなど、議会に関するいろいろなことをお話ししています。

本会議において付託された議案のうち、予算決算委員会2件(令和7年度一般会計補正予算(第4号)、令和7年度下水道事業会計補正予算(第1号))および静浜ポンプ場整備に関する調査等特別委員会1件(損害賠償の額を定めることについて静浜ポンプ場建設(第21-1)工事の工事請負契約の解除)に対して、それぞれの委員会で審査しました。

委員会の審査報告

静浜ポンプ場整備の損害賠償に関わる審査の経過

静浜ポンプ場整備工事が発注者(舞鶴市)の都合により契約解除となったことに伴い、受注者に対する損害賠償の支払いが必要となりました。

市議会においては、特別委員会を設置し、この件について調査してきており、9月定例会に関連議案が提出され、審査しましたので、その経過を説明します。



※ 9月定例会閉会後に、市長から再議の請求があり、臨時会において再度審議しましたが、その内容は、次号で詳しくお知らせします。

あらまし

委員会審査

討論

静浜ポンプ場整備に関する調査等特別委員会審査

懲罰動議

意見書

採決結果

代表質問

一般質問

政策提言報告

政策提言提出

議会報告

定例会予定

議会PR

令和7年10月7日の最終本会議において、提案された議案のうち、令和7年度一般会計補正予算(第4号)の修正案、令和7年度下水道事業会計補正予算(第1号)、静溪ポンプ場整備に関する調査等特別委員会1件(損害賠償の額を定めることについて静溪ポンプ場建設(第21-1)工事の工事請負契約の解除に関する3議案に対して討論をしました。

討 論

討 論

秘密会では説明責任が果たせない

自民党鶴政クラブ議員団

修正案に賛成する。

静溪ポンプ場建設土木工事の契約解除に伴う損害賠償に係る議案審査では、何度も資料提出を求めたが拒まれ、市長から「秘密会であれば資料を提出する」との提案があり、やむを得ず了承した。秘密会では、市民に対して情報提供や説明責任が果たせないことを痛感し大変申し訳なく思っている。損害賠償の財源は市民の税金であり、市民に納得していただく審査が必要である。一般会計補正予算には、市民生活に直結した事業も含まれることから修正案に賛成するが、下水道会計補正予算および損害賠償の額を定める議案には反対する。

討 論

提出資料を審査し、妥当と判断した

日本共産党議員団

修正案に反対する。

静溪ポンプ場建設土木工事の契約解除に関し、損害賠償のうち未払いの工事費が予算計上され、提出された資料を厳正に審査した結果、妥当と判断した。正規の手続を経て静溪ポンプ場整備に関する調査等特別委員会、予算決算委員会で賛成多数で可決されたもので問題ない。このタイミングで修正案の提出は、議会のルールを尊重せず「大きな会派の思いどおりの議会運営」とも捉えられるものである。市の契約解除による損害賠償である。早く議会で議決し、未払い分を事業者を支払う必要もあることから、修正案には反対する。

討 論

損害賠償の額を定める議案には反対

新政クラブ議員団

修正案に賛成する。

静溪ポンプ場建設土木工事に係る損害賠償は、工事費、工事中止期間中の経費など相手側に損害が生じたことされるもので、発注者側の一方的な任意解除権を行使しての契約解除であり、損害賠償するのはやむを得ない。本来、公共工事における損害賠償は必要最小限に留め、施工協議に基づき実施した工事は、逸失利益と合わせて支払うべきである。現時点での議案説明内容では、下水道事業会計補正予算および損害賠償の額を定める議案に賛成できないことから反対し、損害賠償を含まない一般会計補正予算の修正案には賛成する。

討 論

契約解除による損害賠償の早期支払いを

公明党議員団

修正案に反対する。

雨水処理事業費は、令和6年4月30日に発注者の任意解除権により契約解除し、受注業者との施工協議により実施した未払いの工事費を支払うものである。審査では、情報公開条例で非公開とされている情報を含んでいることから、賠償金額が妥当であるかを確認するため、秘密会で審査し、妥当であると判断した。市の都合で契約解除を行い、受注企業に負担をかけているので、早期支払いを求め、損害賠償を含まない一般会計補正予算の修正案に反対し、下水道事業会計補正予算および損害賠償の額を定める議案には賛成する。

討 論

**修正案に強く反対
速やかに支払うべき**

超党・市民ファースト議員団

修正案に反対する。

静溪ポンプ場契約解除に伴う損害賠償に関し、適切に積算されたものと認識する。再度、JVから陳情書の提出も受けており、議会もしっかりと受け止めるべきである。修正案は最終日前日に提出され、大変遺憾である。また、損害賠償の全額が予備費に計上され、本来の支出目的とは異なる。地方自治法第217条第2項に予備費は、議会の否決した費途に充てることができる。結果として、この予算は損害賠償として支払うことができず、意味のない金額を予備費に生み出すため、一般会計補正予算の修正案に反対する。

懲罰動議

令和7年9月定例会において議員発議し、可決した懲罰動議は次のとおりです。

仲井玲子議員に対する懲罰動議

仲井玲子議員は、令和7年10月6日の議会運営委員会において、秘密会の内容について発言があった。

これは、舞鶴市議会会議規則第113条に規定する秘密の保持に違反する行為である。

地方自治法第134条第1項においては、地方自治法並びに会議規則及び委員会に関する条例に違反した議員は、懲罰の対象となることから、懲罰を科すべきである。

※本動議を受け懲罰特別委員会が設置され、そこでの協議を経て本会議において2日間の出席停止の懲罰が決定された。

あらし

委員会審査

討 論

静溪ポンプ場整備に関する委員会審査

静溪ポンプ場整備に関する討 論

懲罰動議

意見書

採決結果

代表質問

一般質問

政策提言報告

政策提言提出

議会報告

定例会予定

議会PR

意見書

令和7年9月定例会
において議員発議し、
可決した意見書は次の
とおりです。

女性差別撤廃条約選
択議定書の速やかな
批准を求める意見書

昭和54年、国連は、
あらゆる分野で女性
性に基づく差別を受
けない権利と平等の
権利を保障する女
性差別撤廃条約を採
択し、日本は、昭和
60年に同条約を批
准し、令和6年現在
、189か国が批准
している。

さらに、平成11年
には、条約の実効性
を強化し、女性が抱
える問題を解決する
ために、個人通報制
度と調査制度を認め
た「女性差別撤廃条
約選択議定書」が国
連総会で決議・採
択され、平成12年1
2月末に発効してい
る。令和6年現在、
条約批准国の内11
5か国が議

定書を批准している
が、日本は、まだこ
れを批准していない。

選択議定書の個人通
報制度とは、条約で
保障された人権を侵
害された被害者が、
国内の救済手続を
尽くした後、条約機
関に申立てを行う
ことができる。条約
機関がこれを審査し
て見解を示すという
制度である。条約機
関が通報者の人権侵
害を認める見解を出
したとしても、その
見解は当該締約国に
対し、法的な拘束力
を持つものではない
が、示された見解の
影響は国際的にも
小さくない。

女性差別撤廃条約の
実効性の確保を図
ろう

とする国際的動向の
下で、政府は、選
択議定書の審議に
参加し、決議に加
わったものである
が、世界経済フォー
ラムで発表された男
女格差を測る「ジェ
ンダーギャップ指数
2025」においては
、148か国中118
位となっている。

政府は、第5次男女
共同参画基本計画に
おいて、「女性差別
撤廃条約の選択議
定書については、諸
課題の整理を含め
、早期締結につい
て真剣な検討を進
める」としている。

国におかれては、
我が国の司法制度
や立法政策との関
連課題等が早急に
解決されるよう環
境整備を進め、女
性差別撤廃条約選
択議定書の速やか
な批准を要望す
る。

以上、地方自治法
第99条の規定に
より意見書を提出
する。

議決をした日

川口孝文	肝付隆治	谷川眞司	水嶋一明	南正弘	今西克己	田畑篤子	野瀬貴則	眞下隆史	眞下弘明	山本治兵衛	高橋秀策	仲井玲子	西村正之	廣瀬昇	福本明日香	上羽和幸	小谷繁雄	杉島久敏	松田弘幸	伊田悦子	小杉悦子	小西洋一	議決をした日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	停	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	10月7日
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	停	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10月7日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	停	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	10月7日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	停	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	10月7日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	停	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	10月7日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	停	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	10月7日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	停	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	10月7日
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	停	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10月7日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	除	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	10月7日

教育委員会委員の任命
教育委員会委員の任期満了に伴い、令和7年10月7日の本会議で次の委員を任命することに同意しました。
新任：田中 寛之氏

議案の採決結果 (令和7年9月定例会)

会期9月2日～10月7日



令和7年9月定例会での議案採決の結果は次のとおりです。この採決は、「押しボタン式投票」で行ったものです。この結果は、舞鶴市のホームページでも公表しております。

全会一致で可決した予算議案

- 令和7年度舞鶴市介護保険事業会計補正予算(第1号)
- 令和6年度舞鶴市水道事業会計の決算の認定及び利益の処分について
- 令和6年度舞鶴市下水道事業会計の決算の認定及び利益の処分について
- 令和6年度舞鶴市病院事業会計の決算の認定について
- 令和6年度舞鶴市貯木事業会計の決算の認定について
- 令和6年度舞鶴市駐車場事業会計の決算の認定について

全会一致で可決した条例議案

- 舞鶴市吏員退職料其他給与金条例等を廃止する条例制定について
- 舞鶴市水道事業給水条例等の一部を改正する条例制定について

全会一致で可決したその他の議案

- 市道路線の認定について
- 工事請負契約について(赤れんがパーク園路(その1)整備工事)
- 工事請負契約について(赤れんがパーク園路(その2)整備工事)

全会一致で同意した人事議案

- 教育委員会委員の任命について

全会一致で可決した議会提出議案

- 女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書

賛否が分かれた議案

【議決結果】 可…可決、 修可…修正可決、 否…否決、 同…同意、 不同…不同意、 承…承認、 認…認定、 可認…認定及び可決、 採…採択、 不採…不採択

【賛否】 ○…賛成、 ×…反対、 欠…欠席、 退…退席、 除…除斥、 棄…棄権、 停…出席停止



議員名等(会派内は五十音順)		投票者総数					議決結果		上野修身 鶴政	尾関善之 鶴政
議案名	出席者数 (議長を除く)	賛成	反対	棄権	修可	否	可	認		
令和7年度舞鶴市一般会計補正予算(第4号)	23	23	12	11	0	修可	○	○		
令和7年度舞鶴市下水道事業会計補正予算(第1号)	23	23	11	12	0	否	×	×		
令和7年度舞鶴市国民健康保険事業会計補正予算(第1号)	23	23	20	3	0	可	○	○		
令和7年度舞鶴市後期高齢者医療事業会計補正予算(第1号)	23	23	20	3	0	可	○	○		
令和6年度舞鶴市一般会計の決算の認定について	23	23	20	3	0	認	○	○		
令和6年度舞鶴市国民健康保険事業会計の決算の認定について	23	23	20	3	0	認	○	○		
令和6年度舞鶴市介護保険事業会計の決算の認定について	23	23	20	3	0	認	○	○		
令和6年度舞鶴市後期高齢者医療事業会計の決算の認定について	23	23	20	3	0	認	○	○		
損害賠償の額を定めることについて(静浜ポンプ場建設(第21-1)工事の工事請負契約の解除)	23	23	11	12	0	否	×	×		
動議 仲井玲子議員に対する懲罰動議	23	23	16	7	0	可	○	○		

【会派】 鶴政…自民党鶴政クラブ議員団、新政…新政クラブ議員団、
超党…超党・市民ファースト議員団、
公明…公明党議員団、共産…日本共産党議員団
☆舞鶴市議会の議員定数は25人です。

10月15日から17日の間に開催されました
令和7年第1回臨時会の内容につきましては、
12月末発行予定の議会だよりに掲載予定です。

令和7年9月12日に本会議を開き、5人が代表質問を行いました。
質問事項は次のとおりです。

代表質問

令和7年 舞鶴市議会 9月定例会代表質問

令和7年9月12日

順番	質問方式	氏名	質問事項	
1	一問一答	川口 孝文	1 舞鶴市の広報・広聴について	2 舞鶴市市民憲章の制定について
2	一問一答	野瀬 貴則	1 令和6年度財政を経た今後の市政運営について	2 西市街地浸水対策事業について
			3 庁内ガバナンスについて	4 市民要望に対する市の姿勢について
			5 小中学校の給食費無償化について	6 地域医療体制の再編について
			7 学校規模の適性化について	
3	3分割	伊田 悦子	1 市民生活を支える物価高騰対策について	2 子どもたちの学びの保障の上に立った学校再編について
4	一括	高橋 秀策	1 市長の政治姿勢について	2 地域医療について
			3 北陸新幹線小浜・京都ルートについて	4 西市街地の浸水対策について
			5 市職員による議員へのハラスメントと市の不適切な対応について	6 公共的な施設のトイレの在り方について
5	一問一答	上羽 和幸	1 今後の財政見通しと物価高騰対策について	2 インフラ整備とまちづくりについて
			3 人口減少対策の柱と次の総合計画について	

※一 一括…質問項目を一括して質問した後、一括して答弁を求める質問の方式

※3 分割…質問項目を分野ごとに3回に分けて質問し、その都度答弁を求める質問の方式

※一問一答…質問項目を一問ごとに質問し、その都度答弁を求める質問の方式

※質問事項のうち各議員が記述の主な質問事項以外の詳細は、ホームページに掲載しています。

また、本会議の様子は、YouTubeで動画配信を行っておりますので、ホームページからご覧ください。

舞鶴市議会

検索



代表質問通告要旨



代表質問一覧表

あらまし

委員会審査

討論

静浜ポンプ場整備に
関する委員会審査静浜ポンプ場整備に
関する討論

懲罰動議

意見書

採決結果

代表質問

一般質問

政策提言報告

政策提言提出

議会報告

定例会予定

議会PR

代表質問

自民党鶴岡クラブ議員団
川口 孝文



Q 事業推進過程の広報・
広聴が不十分では
節目での広報・広聴を
しっかりと行う



質問

広報は、双方
向コミュニケーション
によって、社会的に望
ましい関係を構築・維
持する機能である。広
聴は、市民と行政間の
ギャップを明らかにし、
説明責任を果たす市民
と協働した市政を推進
する必要不可欠なもの
である。本市では、市
の方針が示された時点
で「知らなかった」
「驚いた」などの声を
一部市民から聞いてい
る。要因として、議論
の途中経過の広報と転
換点での広報が不十分
であったものと考えら
れるが、市長の見解を問う。
答弁 事業の節目節
目で丁寧な情報発信に
努めているが、一部の
方から「情報が届いて
いない」という声があ
ることも承知している。



市役所の市政情報コーナー

代表質問

新政クラブ議員団
野瀬 貴則



Q 静浜ポンプに係る資料
が非公開の理由は
適正な入札執行の支障
となる恐れがある



質問

静浜ポンプ場
整備の契約解除による
受注業者へ損害賠償を
支払う補正予算が提案
された。内訳は、工事
中止期間の現場経費や
施工協議により実施し
た工事費だが、根拠と
なる詳細な資料が開示
されていない。今回の
約6676万円は市民
の税金から支払われる
ので、これが適正な額
なのか公開の場で審査
しなければ市民に対し
て説明ができない。な
ぜ損害賠償の内訳を非
開示とし、委員会の資
料提出要求を拒否する
のか理由を問う。

答弁 公正公平な入
札に支障が生じる恐れ
があり設計単価は非公
表としている。その理
由は、過去に本市で発

第70号議案 損害賠償の額を定めることについて

静浜ポンプ場建設（第21-1）工事（以下「本件工事」という。）の
工事請負契約の解除に関し、次のとおり一部の損害賠償の額を
定めることについて、地方自治法（昭和22年法律第67号）
第96条第1項第13号の規定により、議会の議決を求める。

令和7年9月2日提出 舞鶴市長 鴨田秋津

1 損害賠償の額 66,760,100 円

内訳の非開示となった第70号議案

令和7年9月12日に本会議を開き、5人が代表質問を行いました。

質問事項は次のとおりです。

代表質問

代表
質問

日本共産党議員団

伊田 悦子

Q さらなる市独自施策
で市民生活応援をA 多様な財源の効果的
活用で検討

質問

今まで経験し
たことのない歴史的な
物価高騰の中に市民生
活はおかれており、疲
弊している市民生活を
どのように守り、支え
るのが問われている。Q 基地強化に対する
説明会をA 国へ開催求める考
えはない質問 舞鶴地方隊配
備のイージス艦「みよ
うこう」「あたご」へ
トマホーク発射機能の
付加が進められている。
基地強化について国に
説明会の開催を求める
べきでは。見解を問う。質問 舞鶴地方隊配
備のイージス艦「みよ
うこう」「あたご」へ
トマホーク発射機能の
付加が進められている。
基地強化について国に
説明会の開催を求める
べきでは。見解を問う。答弁 事前に地元自
治会への説明を要請し
ている。安全保障に関
しては、国に説明会開
催を求める考えはない。水道基本料金の期限付
き無償化を市政史上初
めて実施したほか、今
後も国の臨時交付金の
活用と併せ、さまざま
な財源の効果的な活用
を検討する。市民の声
を聞きながら市独自の
物価高騰対策に努める。

続く厳しい市民生活

代表
質問

超党派市民ファースト議員団

高橋 秀策



Q 市長の政治姿勢は

A 時代の変化に応じた
まちづくりを進める

質問

令和5年3月
定例会で、市長は「日
々は清新の気持ちで市
政の推進に努める決意」
と所信表明をされてか
ら早2年半が経過した。
第7次舞鶴市総合計画
の策定や市民との対話
集会、18歳まで拡充し
た子育て支援医療費助
成制度、医療機能最適
化検討会議、学校給食
無償化、アイリスオー
ヤマ株式会社企業の誘
致、学校トイレの洋式
化推進、中学校体育館
空調設備など多くの政
策を実現してきた。今
後の市政運営に関して
の思いや取り組みたい
政策などについて問う。今後の重点施策では、
子育て環境の充実で、
子育て機能を中総合会
館に集約することも家
庭センターの設置や休
日部活動の地域展開な
どである。また、みな
と振興や観光戦略、農
林水産業振興、企業誘
致など、市民との対話
や現場の声を重視しな
がら時代の変化に対応
したまちづくりを進め
る。

子育て機能の中心を担う中総合会館

代表
質問

公明党議員団

上羽 和幸

Q 新たな道路整備に向け
今後の推進計画はA 東市街地への道路
ネットワークを進める

質問

現在、重点施
策として道路整備が進
行中であるが、次の新
たな整備に向け、来年
度完成する市道と泉通
線の延伸や府道小倉西
舞鶴線の4車線化など、
東舞鶴市街地の基幹道
路に対する今後の推進
計画を問う。は、賃金上昇が物価上
昇に追いついていない。
実質賃金がマイナスに
なっていることである。
国の交付金で物価高対
策を行うのは当然とし
て、これ以外に好調な
財政を元に暮らしを元
気にできる施策が求め
られるが、見解を問う。質問 舞鶴東ICと
前島ふ頭や赤れんがパ
ークを結ぶ道路ネット
ワークとして交通誘導
を図ることが重要であ
る。和泉通線は国道27
号までの区間も進め、
府道小倉西舞鶴線は4
車線化を要望し、東市
街地の道路ネットワー
ク整備に向け推進する。答弁 国の臨時交付
金やさまざまな財源を
効果的に活用するなど、
現場からの声を大切に
し、市民ニーズに速や
かに応える施策の展開
に努めたい。A 好調な財政で
物価高対策を
二一ズに伝える
施策に努める

質問 物価高騰問題



令和8年度開通予定の市道と泉通線

あらまし

委員会審査

討論

静浜ポン場整備に
関する委員会審査静浜ポン場整備に
関する討論

懲罰動議

意見書

採決結果

代表質問

一般質問

政策提言報告

政策提言提出

議会報告

定例会予定

議会PR

令和 7 年 9 月 16 日、17 日に本会議を開き、19 人が一般質問を行いました。
質問事項は次のとおりです。

一般質問

令和 7 年 舞鶴市議会 9 月定例会一般質問

令和 7 年 9 月 16 日、17 日

順番	質問方式	氏 名	質 問 事 項	
1	一問一答	小西 洋一	1 新たな気候変動に対応した「高野川総合治水対策事業」について	2 G I G A スクール構想について
			3 本市消防体制の充実強化について	
2	一括	西村 正之	1 ハラスメントについて	
3	一括	松田 弘幸	1 一次産業の活性化の取組について	2 一次産業を活用した観光振興の取組について
4	一問一答	今西 克己	1 有害鳥獣対策について	2 市民要望に対する市の姿勢について
5	一問一答	谷川 眞司	1 行政ポイントについて	2 外国人へのごみ分別の周知について
			3 法改正に伴う緊急銃猟について	
6	一問一答	小杉 悦子	1 農業の振興について	2 国民健康保険事業とマイナ保険証などについて
			3 地域医療の再編について	
7	一問一答	廣瀬 昇	1 本市の地域活性について	2 持続可能な地域医療体制と人材育成について
8	一問一答	杉島 久敏	1 太陽光パネル設置と廃棄問題について	2 予防医療の推進について
9	一問一答	眞下 弘明	1 舞鶴の民謡などの伝承について	2 公共施設の管理の在り方について
			3 北朝鮮人権週間について	
10	一括	水嶋 一明	1 京都舞鶴港におけるクルーズの取組について	
11	一問一答	福本明日香	1 本市の米への対策について	2 戦後 80 年の平和への取組について
			3 不登校対策について	
12	一問一答	小谷 繁雄	1 地域共生社会の実現に向けた重層的支援体制整備事業について	
13	一問一答	眞下 隆史	1 舞鶴市学校規模適正化ビジョン(案)について	
14	一問一答	南 正弘	1 大阪湾 B C P について	2 防災庁の誘致について
15	2 分割	仲井 玲子	1 若者に選ばれるまちづくりについて	2 本市の水道管の整備状況について
16	一問一答	田畑 篤子	1 舞鶴地域医療について	2 舞鶴市子どもまんなか計画について
			3 介護職員等による「喀痰吸引・経管栄養研修」について	
17	一問一答	上野 修身	1 本市の上下水道事業について	
18	一問一答	山本治兵衛	1 令和 6 年度財政について	2 庁内ガバナンスについて
			3 西市民プラザの方向性について	
19	一問一答	尾関 善之	1 西地区高潮対策について	

※一 括…質問項目を一括して質問した後、一括して答弁を求める質問の方式
※2 分 割…質問項目を分野ごとに 2 回に分けて質問し、その都度答弁を求める質問の方式
※一問一答…質問項目を一問ごとに質問し、その都度答弁を求める質問の方式

※質問事項のうち、各議員が記述の主な質問事項以外の詳細は、ホームページをご覧ください。
※本会議については、YouTube で動画配信を行っておりますので、ホームページをご覧ください。

舞鶴市議会

検索



一般質問通告要旨



一般質問一覧表

質問 児童生徒にー

A 指導 適切に組み合わせる
Q ICT 教育は 見直すべき

ICT 教育は、国の新ガイドラインに沿って計画の策定を進めている。静溪ポンプ場も含めて優先順位の高い箇所から設計業務、用地買収を経て工事に着手する。

質問 繰り返す浸水被害で「心が折れる」とする住民の「高野川総合治水対策事業」への期待は大きい。事業中止となった静溪ポンプ場の課題を整理し、新たな気候変動に対応した整備目標の見直しと、一日も早い工事再開が待たれている。今後の事業全体の工程は、

人一台のタブレットを導入してから 7 年目となる。「文字が丁寧に書けない子どもが増えている」と先生の声や視力低下など健康の影響も出てきている。ICT 教育を見直す時期にきているのでは。

答弁 本市では、読み書きの基礎の育成や読書習慣の形成を妨げることなく、ICT 機器が学習効果の向上につながるよう授業改善を進めている。今後も適切に組み合わせ、学習指導を進めていく。



見直しの動きが出てきている ICT 教育

一般質問

A 国の新ガイドラインに沿って計画を策定
Q 新たな気候変動に 応じ整備目標見直しを

日本共産党議員団 小西 洋一



あらまし

委員会審査

討論

静溪ポンプ場整備に関する委員会審査

静溪ポンプ場整備に関する討論

懲罰動議

意見書

採決結果

代表質問

一般質問

政策提言報告

政策提言提出

議会報告

定例会予定

議会 P R

令和7年9月16日、17日に本会議を開き、19人が一般質問を行いました。

質問事項は次のとおりです。

一般質問

一般質問

超党市民ファースト議員団

西村 正之

Q カスタマーハラスメント
対策の効果はA 一定の効果があつた
ものと認識している

質問

本市では、常

に行政サービスの利用者に対して、信頼と期待に応えて、最適なサービスを提供するように努めている。2月に、カスタマーハラスメント対策ガイドラインが策定された。「日本一働きやすい市役所」を目指す本市にとって、カスタマーハラスメント対策は重要である。ガイドラインができて、運用から半年が過ぎているが、働きやすい環境になっているのか。また、より良い行政サービスにつながるの

ービスの低下にもつながる可能性を有しており、2月から働き方改革の一環としてカスタマーハラスメント対策に取り組んでいる。カスタマーハラスメントと判断される基準や対策方法を規定し、職員研修を通して周知徹底を図った。4月からは通話録音装置の導入や防犯カメラの設置も進めており、一定の効果があつたものと認識している。

答弁 カスタマーハラスメントは、職員の尊厳を傷つけるだけでなく、行政サ



STOP! カスタマーハラスメント

厚生労働省のカスハラ啓発チラシ

一般質問

公明党議員団

松田 弘幸

Q 京都で漁獲された
マグロのネーミングをA 京都にふさわしい
ネーミングにする

質問

クロマグロの

ネーミングや規格は、消費者にPRし、普及していく上で非常に重要な訴求要素である。

質問

大間のように

京都府漁業協同組合や流通関係者および関係行政機関等と協議し、国内を代表する京都府産クロマグロにふさわしいネーミングを早く決めるべきではないか。

質問

9月にセリ

答弁 京都府産クロマグロにふさわしいネーミングは、京都府漁業協同組合や流通関係者、関係行政機関等と協議している。令和8年2月、海の京都DMOが京都丹後鉄道で実施する「(仮称)海の京都をつなぐマグロ列車」の運行に合わせ、名前を披露する予定である。

答弁 9月にセリの様子メディアに取り上げられた。今後ともプレスリリースをはじめ、SNS等も戦略的に活用し、本市の魅力ある農水産物のPRを積極的に展開していく。

京都府産クロマグロに
ネーミングを

一般質問

新政クラブ議員団

今西 克己

Q 自治会等からの要望書
の書面回答を問うA 形式的であり文書
回答は取り止める

質問

2か月前7月

1日、舞鶴市から突然電話があつた。内容は、「今まで地域からの要望事項に対して書面で回答していましたが、

各地域団体でまとめた区長会等での要望というのは、ごく限られた地域に限定されている。過去の経過の中で、紹介議員の仲介で市長が面談をして聞き取った事項については、文書で回答するというルールを定めていた。今回、特定の地域のみ形式的に文書でお知らせすることについては、取り止めるものである。

答弁 地域からの要望は、自治会単独で受けることが大半であり、



地域から市長に提出された切実な要望書

あらまし

委員会審査

討論

静浜ポン場整備に関する委員会審査

静浜ポン場整備に関する討論

懲罰動議

意見書

採決結果

代表質問

一般質問

政策提言報告

政策提言提出

議会報告

定例会予定

議会PR

令和7年9月16日、17日に本会議を開き、19人が一般質問を行いました。

質問事項は次のとおりです。

一般質問

一般質問

自民党鶴岡クラブ議員団
谷川 眞司



Q 行政ポイントの活用を求める

A 有効な手段の一つと認識している



質問 行政ポイント

制度が単なる買い物支援にとどまらず、地域住民の交流促進や高齢者の見守り、さらには地域経済の循環を支える仕組みへと発展させていくための、本市の見解を問う。

答弁 スマートフォンを活用した多言語対応のごみ出しアプリは、有効な手段の一つである。本市においてもA

の仕組みや地域経済の域内循環、DXによる便利で住みよい地域社会を構築する上で有効な手段の一つであると認識している。

ティの秩序や安全・安心な暮らしにも直結する課題である。問題解決の方法として、ICTや先進的な手法を取り入れる可能性について、本市の見解を問う。

Q ICTの活用で
ごみ分別は

A 調査研究をする

質問 ごみの分別

ールは単に環境美化や資源回収の観点にとどまらず、地域コミュニ



分別不良で未回収のごみ

一般質問

日本共産党議員団
小杉 悦子



Q 水不足で農家は疲弊
渇水被害の対応は

A 新規購入・借用など
ポンプ7台で対応



質問 今年の異常な

高温と渇水が稲作農家だけでなく、野菜や果樹など農作物にも大きな影響を与えた。どの農家も必死の思いで水確保に努められていた。今年の渇水被害に対して、どのように農家の実態を把握し、対策を強化されてきたのか。

答弁 皆さまのご意見をお伺いし、必要に応じて補正予算を提案している。また、国や

河川の状況を確認するとともに、市所有の揚水ポンプ3台に2台を緊急購入し、京都府から借用した2台を加え、合計7台体制で農家の要望に対応してきた。

家の声と要望を伝え、災害級の農家への支援が必要であると要望した。市として、今後どのような対策強化を考えているのか。

Q 異常気象の常態化
対策は

A 地域と相談を重ね
支援する

質問 異常気象が常

態化している今日、党議員団は、国や市に農



持続可能な農業支援の強化を

一般質問

超党市民ファースト議員団
廣瀬 昇



Q 隠岐島前モデルに
対する本市の認識は

A 本市とは状況が
異なるが参考になる



質問 高校の魅力化

とそれを支える官民連携の「仕組み」づくりを核とした隠岐島前モデルの成功は、未来を担う「人」と人をつなぐ「仕組み」という人的インフラに投資したことにある。この成功要因を本市はどう認識しているのか問う。

答弁 大変人気が高い取り組みであり、昨年参加された学生のうち2人が市内の公的病院への就職が内定した。最も重要視する成果であり大変嬉しく思う。

答弁 本市とは状況が異なるが、地域資源を活用し、関係者が一体となって地域活性化に取り組むモデルとして、参考になるものと認識している。

Q 看護師確保の取
組みは

A 大きな成果が出て
いる

質問 本市と市内4

病院が連携する「舞鶴ナースインターンシッ



地域ぐるみで看護師確保を

令和7年9月16日、17日に本会議を開き、19人が一般質問を行いました。

質問事項は次のとおりです。

一般質問

一般質問

公明党議員団

杉島 久敏



Q 酷暑時のフレイルリスク対策と支援は

A 市民が安心して運動できる機会を創出



質問

酷暑において、熱中症予防のため外出を控え、運動不足になるなどの悪条件が重なった結果、世代を問わず、フレイル発症のリスクが高まっている。

本市では、フレイル発症リスクの課題に対し、どのような認識をお持ちか。その上で課題解決として、どのような対策や支援を実施されているのか。近年は、市民の間で健康志向が高まっている。予防医療、健康推進の方策に関し、市民の意見に耳を傾け、検討していただきたい。

答弁

酷暑における外出自粛や運動不足は、あらゆる世代で体力の低下を招き、とりわけ高齢者においては、身体機能の低下や健康状



動画公開(元気になっちゃった体操)

態の悪化リスクが高まる恐れがあると認識している。健康状態を維持するためには、安全に配慮した上で運動を行うなど、日々の生活で健康を意識することが重要である。市ホームページなどを活用し、自宅でもできる体操の動画の公開や市民が安心して運動できる機会の創出に努めている。

一般質問

新政クラブ議員団

眞下 弘明



Q 舞鶴の民謡、市が継承に関与すべきでは

A 機会を創出し郷土愛の醸成に努める



質問

舞鶴の民謡といえ、舞鶴小唄や舞鶴風流音頭などがある。みなと舞鶴ちゃったまつりで民謡流しが行われていたが、コロナ後はなくなり、担い手の高齢化や後継者不足、若年層の民謡への関心の低下により伝承が途絶える危機に直面している。民謡は、地域の文化や歴史を伝える重要な財産で文化遺産である。この状況を放置すれば、地域のアイデンティティが失われる。市が積極的に関与し、継承すべきだと考えるが本市の見解を問う。

答弁

本市には舞鶴小唄や舞鶴風流音頭など、さまざまな民謡があり、昔から地域の盆踊りやみなと舞鶴ちゃったまつり前夜祭の民



舞鶴の民謡を踊る子どもたち

踊流しなどで市民に親しまれていた。民謡の歌詞から舞鶴の自然や景色、当時の暮らしや祭り、年中行事の様子を伺い知ることができ、歴史的・文化的な価値がある。今後も学校や地域、文化協会などと連携を図り、地域固有文化に触れる機会を創出し、舞鶴への愛着や郷土愛の醸成に努める。

一般質問

自民党鶴岡クラブ議員団

水嶋 一明



Q 寄港地観光に関する取組経過は

A 実現性の高いツアープランをPRした



質問

令和7年7月27日に寄港した「アドラ・マジック・シティ」の乗客は赤れんがパークや引揚記念館に加え、府北部ならではの天橋立や伊根町の舟屋など、観光地を巡るツアーバス31台で楽しまれた。京都市内観光へ向かったバスは1台であった。このことは、府北部地域の観光資源が十分に世界に通用することが証明されたものであり、船主に府北部地域の観光商品の開発や売り込みをどのようにされたのか。どのような取り組みが寄港地ツアーにつながったのかを問う。

答弁

7月27日に国際ふ頭へ寄港した「アドラ・マジック・シティ」では、舞鶴港でし



太鼓による歓迎の「おもてなし」

令和7年9月16日、17日に本会議を開き、19人が一般質問を行いました。

質問事項は次のとおりです。

一般質問

一般質問

超党派市民ファースト議員団
福本明日香

Q 本市の稲作の渇水対策と作柄については

A ポンプ7台の貸出で、作柄は例年並み



質問

今年の記録的な水不足により、本市においても、由良川の塩水遡上が深刻となり、市が節水と呼び掛ける事態となった。渇水における本市と地域の取り組み、作柄について問う。

答弁

7月下旬から、農事組合などからポンプの貸し出しを求める声が届き始め、計7台で対応した。今年の作柄は、水の確保状況により差が生じているものの、市内全体では例年並みの見込みである。

NPO団体と連携した耕作放棄地の活用について、公設民営で借り受けて始めるなど、本市でも実践してみているのか。本市の見解を問う。

市街地と農村部が接近する本市にとって、市民農園の活用は、耕作放棄地の防止・解消策の一つである。本市としては、今後、先進事例も参考にしながら、有効な耕作放棄地の防止・解消策の研究を重ねていく。

Q 耕作放棄地の対策と活用は

A 有効な防止・解消策を研究

質問

耕作放棄地は、生活に影響を及ぼす問題となっている。認定連携事業の一環として、



問題を抱える耕作放棄地

一般質問

公明党議員団
小谷 繁雄

Q 地域共生社会へ向けた支援体制の構築を

A 社会福祉協議会と連携し、支援していく



質問

地域共生社会の実現に向け、令和7年4月から重層的支援体制整備事業を本格実施し、庁内連携の強化や支援会議の設置など、支援体制の整備を進めてきた。そこで、社会福祉協議会との連携に加え、包括化推進員や庁内包括マネージャーなどの人材を配置し、制度の縦割りを越え、誰ひとり取り残さない地域共生社会の実現に向けて、市民に寄り添いながら取り組んでいく、包括的な支援体制について、本市の見解を問う。

地域共生社会の実現は、各分野の縦割りや支える側・支えられる側の関係を超え、地域、住民、福祉関係団体等が世代や分野を超え、制度のはざまにある複合的な課題を抱える個人や世帯に対し、分野横断的な支援に取り組む。

答弁

社会福祉協議会を重要なパートナーとして多機関協働事業



支援の根幹である「重層的支援体制整備事業」

一般質問

新政クラブ議員団
眞下 隆史

Q 学校規模適正化に向けた現状の教育環境は

A 規模に関わらず課題はあり工夫している



質問

本年6月定例会でも質問した、舞鶴市学校規模適正化ビジョン(案)について、現状の教育環境をしっかりと把握することが重要であると私は考えている。未来を見越した人口形態と、学校施設の老朽化のみの議論で進んでいるように感じている。今現在、具体的に少人数学校に課題があり、望むべき成長をしていないということなのか。また、標準人数学校において課題はないのか。

できれば一層充実したものになると考える。また、学校の規模に関わらず各学校には、そもそも課題はあると考えている。小規模校と比べて標準規模校では児童生徒が多いことで、一人一人の個性・学習進度・心理面まで把握することが難しい面がある中、いわゆる丁寧な教師の関わりで学習を進めている。

答弁

各学校の状況に合わせて工夫しているが、今後ますます児童生徒数の減少が見込まれ、各学校の工夫だけでは学びの限界があり、適正な規模を確保



適正規模とは何か

令和7年9月16日、17日に本会議を開き、19人が一般質問を行いました。

質問事項は次のとおりです。

一般質問

一般質問

自民党鶴岡クラブ議員団

南 正弘



Q 当市への防災庁の誘致の考えは

A 本市単独で名乗りを上げることはない



質問

防災庁を誘致

域的な司令塔として幅広い役割が期待される

質問

本市の若者の人口動態において流入

事業ニーズに対応した募集も検討する。舞鶴出身者やゆかりのある

質問

病棟再編における看護師の配置は重

要である。単純に公的4病院の看護師を総合的に

一般質問

超党派市民ファースト議員団

仲井 玲子



Q 若者の移住定住を促す本市の取り組みは

A 定住の推進と関係人口の構築に努める



一般質問

新政クラブ議員団

田畑 篤子



Q 再編に向け看護師の補助金制度の考えは

A 奨学金制度についても説明していく



例えば、今後、人材確保のために、各高校へ回ったり、看護師の道に進んでいただくような働きかけをする場合については、そういう奨学金制度についても、しっかりと説明していきたいと考えている。

防災庁を誘致することにより、地域経済への波及効果として、雇用の創出が考えられる。また、行政職員や技術者、研究者などの雇用の増加が見込まれる。次に、関連産業の活性化として、宿泊・飲食・交通インフラなどの需要が高まり、地域経済に好影響を与える。そして、若者の定着が考えられる。防災関連の学科や研究機関が新設されれば、若者の流入と定着が期待される。防災庁を誘致する考えを問う。

質問

現在、京都府を含む関西広域連合において、関西への拠点設置に向けた要望活動が実施されているところである。防災庁の地方拠点は、災害時の広

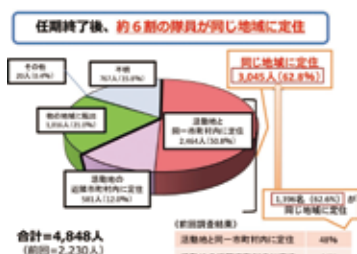


望まれる防災庁の誘致

また、舞鶴高専生に移動手段の提供や市内事業者との関係構築の橋渡しについて問う。

質問

これまでの地域おこし協力隊の活動実績を生かし、移住・定住施策の推進はもとより、各地域、多様な



本市の人口の純移動は主に若者世代

制度については、病院



再編の行方を見守る看護師達

あらまし

委員会審査

討論

静浜ポンプ場整備に関する委員会審査

静浜ポンプ場整備に関する討論

懲罰動議

意見書

採決結果

代表質問

一般質問

政策提言報告

政策提言提出

議会報告

定例会予定

議会PR

令和7年9月16日、17日に本会議を開き、19人が一般質問を行いました。
質問事項は次のとおりです。

一般質問

一般質問

水道管漏水事故の
再発防止策は

更新計画に基づき
着実に進める

自民党鶴岡クラブ議員団
上野 修身



質問

水道は、日常生活を営む上で重要な役割を担っている。水道管の多くは地中に埋設されているため、長い年月の経過とともに腐食、劣化が進み漏水、破損のリスクが高まる。水道管の法定耐用年数は40年となっているが、全国では、年間2万件を超える漏水事故が発生しており、市民生活や経済活動の妨げとなっている。本市でも、8月に倉谷口交差点で漏水事故が発生した。発生原因、再発防止策と併せて、耐用年数を超えた水道管の更新、耐震化についての整備計画を問う。

答弁

倉谷口交差点の水道管漏水事故では、断水や交通規制等で市民の皆さまにご不便を



更新計画に基づき更新作業を進める水道管

一般質問

西市民プラザの運営
市民の英知を集めて

今回の運営方針は
市民意見を結集した

新政クラブ議員団
山本 治兵衛



質問

西市民プラザの運営方針が公表された。令和5年に示された運営方針は唐突に発表され、建設当時の背景や目的、地域の取り組みがなかったかのよう、若者の居場所づくり等を基本的なビジョンと決定し、指定管理者の公募が行われた。地元自治連や各団体から大きな疑義を持たれた大きな問題となった。その当時は住民への説明や協議がなく、大きな議論となったが、今回は方針決定までのプロセスをどのように取り組まれたのかを問う。

答弁

十分な地元協議と合意形成を図ることを目的に意見交換会を5回開催した。意見交換には、周辺自治会や商店街の関係者、施設利用者のほか、老人



市民の市民による市民のための西市民プラザ

一般質問

高潮被害の解消に
向けた取り組みは

道路のかさ上げを含めた
対策を検討する

自民党鶴岡クラブ議員団
尾関 善之



質問

高潮対策は、安全で安心なまちづくりにおいて、社会基盤の観点から災害被害を最小限に抑えるための西地区における最重要課題であると認識している。高潮被害は、床上浸水や床下浸水、下水の逆流でトイレが使用できない異常な状況、物流や人流の障害となるなど、市民生活や事業者の経営の根幹を揺るがす深刻な影響がある。高潮被害の解消に向け、緊急かつ全力で取り組んでいただきたいが、本市の見解を問う。

答弁

高潮被害の状況は、8月上旬の大潮を中心に4回発生している。特に



道路冠水の状況

あの提言
どうなった？

令和6年の政策提言に関する市の対応状況



令和6年に各常任委員会で取りまとめた市へ提出した政策提言への対応状況を確認しました。詳しい内容は、市議会のホームページをご覧ください。

総務消防委員会

「地域防災力の向上を目指した福知山公立大学との連携」

専門的知見を活用した地域防災研究を行う福知山公立大学地域防災研究センターと連携し、自助や共助に対する市民意識の向上に取り組まれたい。

地域住民による防災マップの作成や、市が実施する防災訓練などにおいて、福知山公立大学と連携しながら進めている。

産業建設委員会

「捕獲した有害鳥獣の処理方法の多角化」

捕獲した有害鳥獣の埋設処理をできる限り減少させることを念頭に、微生物による減容化や焼却処分などの検討も含めて多角化に取り組まれたい。

市内のジビエ・ペットフード加工施設との連携による加工処理に取り組むなど、引き続き、処理方法の多角化を進めたい。

福祉健康委員会

「重層的支援体制の構築に向けた人材確保と実施計画の策定」

社会福祉協議会を中心とした多機関協働の体制構築と、市民への周知や人材確保に向けた重層的支援体制に係る実施計画の策定に取り組まれたい。

複雑な支援ニーズに柔軟に対応できる体制を強化している。また、重層的支援体制に係る実施計画を策定し、公開した。

市民文教委員会

「こどもの居場所の拡充と支援体制の強化」

こども本人が居場所と感じ、安心して過ごせる場の拡充を市の計画に位置づけて推進するとともに、官民一体での居場所づくり支援に取り組まれたい。

市の計画に、こども・若者の居場所づくりを位置付けた。また、新たな補助金制度を創設して広く周知を図った。

市長へ政策提言書を提出

各常任委員会で選定している1年間の重点事項に沿って、本市の状況の把握や他市の事例の調査、「市民と議会のわがまちトーク」における市民の皆さまとの意見交換などを経て議論した結果として、市に対する提言を取りまとめ、市長に提出しました。

提出した提言書は、市議会のホームページに掲載しています。

ホームページから提言書
をご覧ください。



総務消防委員会

市民全体に「自助」の意識を育む防災の取組

多くの市民が関心を持てるイベント性を取り入れた防災訓練や、小学生が防災について学ぶきっかけづくりなどについて提言

産業建設委員会

水産物の消費拡大と水産業の担い手確保の取組の拡充

「さかなの日」と連動した消費と販路の拡大や、漁業就業者の住宅確保支援などによる担い手確保の取組の拡充について提言

福祉健康委員会

「ケアラー支援条例」制定の提案

高齢者や障害のある方の介護等を行う家族を含めたケアラーに対する支援の根拠となる条例の制定に向けた検討について提言

市民文教委員会

次世代に継承する文化活動の活性化と支援体制の強化

総合文化会館を文化創造の拠点に位置付けることや、官民一体となって文化振興に係る取組を推進することなどについて提言



市長へ政策提言書を提出



提言内容を説明して意見交換

議会報告会を開催しました

舞鶴市議会基本条例の理念に基づき、議会活動に係る説明責任を果たすとともに、市民の皆さまの多様な意見を的確に把握する機会として、まちづくりの主役である市民の皆さまと住民自治の根幹である市議会とが一緒に舞鶴市の将来（より良いまちづくり）について考え、市政に反映させるため、「議会報告会」を開催しています。

第3回目は、令和7年10月23日に、西公民館において、以下の内容で開催しました。

9月定例会・第1回臨時会の概要報告

- ・審議した議案等の基本的事項の説明
- ・各会派の賛否や考え方などの説明
- ・質疑応答（参加者⇄議員）



舞鶴市の将来に向けた意見交換

（参加者⇄議員）

「次代を担う子どもたちに残したい舞鶴の未来 ～地域コミュニティの活性化～」

「舞鶴市の将来に向けた意見交換」では、災害時における地域コミュニティの重要性や避難所のトイレ問題、議員や市の職員が、もっと自治会の活動に目を向け、行動することの必要性、自治会も含めた地域の団体の体制を見直すことの必要性など、参加者の皆さまからさまざまな意見が出され、議員も自身の思いを述べるなど、貴重な意見交換の場となりました。

議会報告会の内容と参加者へのアンケートの結果は、ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

今回は、定例会・臨時会に関する参加者の皆さまからのご質問やご意見が多く、後半の意見交換の時間が短くなりましたが、その場の状況に合わせた進行や時間配分で実施してまいります。



第3回議会報告会

議会報告会は、今後も、曜日、時間、場所、内容、進め方などの改善・工夫を重ねながら、定例会の翌月を目途に継続して開催していきたいと考えており、その都度、ホームページやFacebookなどでお知らせしますので、ぜひご参加ください。

12月定例会予定

11月

26日(水) 本会議（開会・提案説明）

12月

- 3日(水) 請願受理締切
- 8日(月) 本会議（一般質問）
- 9日(火) 本会議（一般質問）
- 10日(水) 本会議（一般質問、議案質疑）
- 12日(金) 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 15日(月) 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 18日(木) 予算決算委員会
- 24日(水) 本会議
（委員長報告・質疑・討論・採決・閉会）

※予定は変更することがあります。



本会議や委員会等は、どなたでも傍聴することができます

議会を傍聴してみませんか

詳しいお問い合わせは市議会事務局へ ☎66-1060

聴覚等に障害のある方が本会議等を傍聴する場合は、事前予約により、手話通訳者・要約筆記者を配置します。

ご希望の方は、傍聴予定日の7日前の午後5時までに「手話通訳・要約筆記申込書」に必要事項を記入の上、窓口へ持参、またはFAX、郵送によりご提出ください。

なお、日程の都合などにより、手話通訳者・要約筆記者が配置できない場合がありますのでご了承の上、お早めにご相談ください。

詳しくはホームページをご覧ください。

舞鶴市議会

